



ガード巾木

取扱説明書 / 施工要領書

このたびは当社製品をお買い求め頂き、誠にありがとうございました。
ご使用前に、この説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになった後も、すぐに取り出せる場所に大切に保管してください。

この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が発生した場合、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

もくじ

取扱説明書	1
施工要領書	2

ガード巾木

安全上のご注意

使用前に本書をよくお読みの上、正しく使用してください。また、ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。

用語および記号、絵表記の説明

⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

⊘ この記号は、禁止の行為（してはいけないこと）を告げるものです。

! この記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。

ご利用にあたって

⚠ 注意

! 定期的な清掃をしてください。

いつまでもキレイな状態を保つために、定期的な清掃が必要です。普段は乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい時は、中性洗剤の溶液に浸し、よく絞ってから汚れた部分を軽く拭き取ってください。

⊘ アルカリ・酸性（弱酸性含む）・塩素系洗剤・シンナー等を使用しないでください。

お手入れの際、アルカリ性洗剤や酸性洗剤、塩素系洗剤、シンナー等を使用すると、部品が変色したり、劣化することがあります。

⊘ クレンザー・磨き粉を使用しないでください。

お手入れの際、クレンザーや磨き粉を粗い粒子を含んだ洗剤や、ナイロンたわし等の傷つけやすいものを使用すると、部品表面にキズがつき光沢を失ったり、変色することがあります。

⊘ 火を近づけないでください。

本製品にタバコなどの火を近づけないでください。変形、変色の原因になります。

施工手順

1. 長さカット

必要な長さに合わせ、丸ノコなどを用いてカットしてください。

2. 接着剤塗布

接着剤推奨品（コニシ株式会社製）

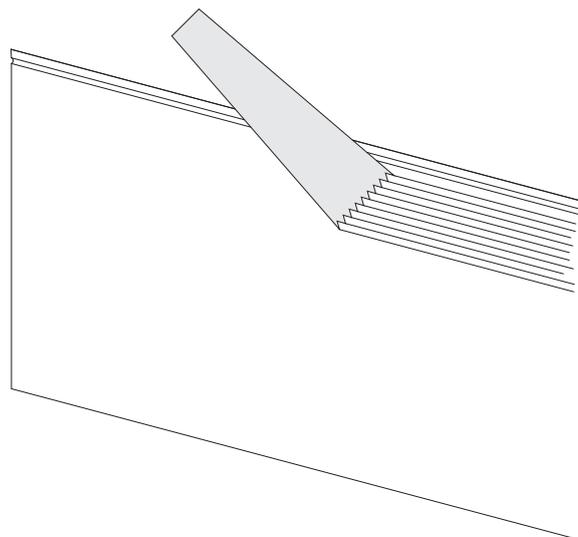
G77K3 3kg（缶）・G77Z 330ml（カートリッジ） もしくは MPX-1 333ml（カートリッジ）

施工面と部材の接着面のゴミやホコリを取り除き、施工面が十分に乾燥していることをご確認ください。

●G77K3（両面塗布タイプ）の場合

施工面と部材接着面の両面に接着剤をクシゴテなどで塗布し、オープンタイムを設けてください。

季節	気温（目安）	オープンタイム
春・秋	20～25℃	10～30分
夏	30～35℃	10～30分
冬	5～10℃	15～25分

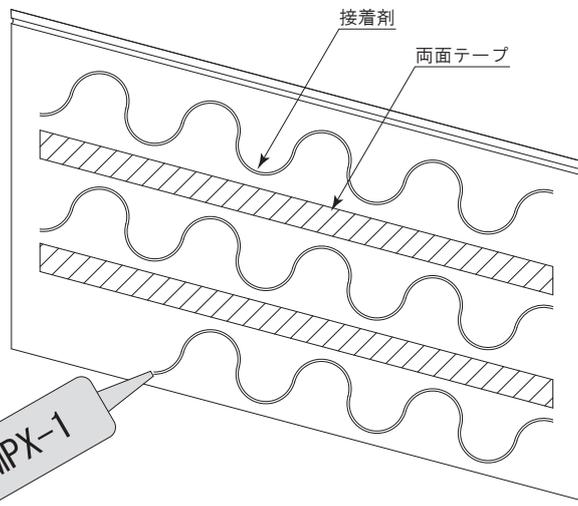


●G77Z（片面塗布転着タイプ）の場合

接着剤を部材接着面にムラなく塗布し、5分以内に施工面に一時圧着してください。施工面から部材を引き剥がした後、5～10分程度のオープンタイムを設けてください。

★接着剤塗布の際の注意点

オープンタイム不足や、オープンタイムを大幅に過ぎてからの接着は接着不良による剥がれの原因となりますので、ご注意ください。



●MPX-1（片面塗布タイプ）の場合

部材接着面に両面テープ（仮止め用）を貼り、それ以外の部分に接着剤を塗布してください。

3. 圧着

部材を施工面に押し当て、へこませないように注意し、ゴムハンマーや当て木をして叩くなどして、十分に圧着してください。

★施工上の注意点

- ・壁面がクロス仕上げの場合、剥離の恐れがあるため、巾木を接着する面は、ボード面になるようにしてください。
- ・接着剤は弊社推奨品のご使用をお勧めします。他の接着剤などの場合は、接着剤メーカーにお問合せください。
- ・接着剤のオープンタイム不足、または厚塗りをしすぎると、溶剤が飛ばずに、施工後巾木が変形することがあります。
- ・ジョイント突きつけ部は、小口をアロンアルファ等（プラスチック接着可能なもの）で接着してください。
- ・冬場の低温下（目安2℃以下）では、接着剤は接着できません。ジェットヒーターなどで室温を上げてご使用ください。
- ・接着剤が硬化するまで、衝撃や振動を加えることのないよう注意してください。